

7月6日 外環本線オープンハウスでの懇談会のメモ

7月6日のオープンハウスは雨が降らずラッキーでしたが、15時からの懇談会(実質15時45分から)の参加者は市議会議員3名、市役所4名、武蔵野市住民10名、市外3名くらいでした。市議会議員は参議院選挙の応援があって、欠席のお電話や13時過ぎにいらして、そそくさと帰られた方がほとんどでした。

外環国道事務所の木本計画課長、山岸東日本 NEXCO、佐野中日本 NEEXCO の3人が出席。

質問書を添付しましたので、参考になさってください。

1)交通問題では実情や問題を話して、「交通問題」だけの学習会の開催を要望するのがせいぜいでした。交通問題の協議には時間が必要なので、早急に始める必要があります。

2)安全

(1)横連絡坑については現在検討中で、決まり次第、説明会を開くとのことです。世田谷区ではすでに説明会が開催されたという話を聞いていましたが、その中身も変更の可能性があるようです。地下40m以深の横連絡坑はそれくらい難しい工事なのでしょう。

本線工事の行程が終ったあと、横連絡坑をつくる。あるいは途中で始めるかもしれないとのこと。

⑧集中豪雨についても検討中。

(2)シールド工事の安全について

こちらの要望を述べたにとどまり、返答はなし。

(3)野川の酸欠気泡発生問題

この関連では新しいパネルが展示されていた。室内での試験の話など。(気泡剤について改良している。) シールドマシンの先頭付近の地上では24時間体制で監視員が循環、監視している。武蔵野市の地盤は概ね舎人層。

①古谷氏の質問についてはオープンハウスで回答すればよいと思っていたとのことなので、文書で、本人宛に回答することを要望した。

(4)武蔵野市の緊急時避難計画の作成

国はなにもしていないわけではなく、安全についてはパンフレットを作製したと言う。(2月のオープンハウスで配ったもののことか。)オープンハウスに来なかった人は知らないこととなります。

武蔵野市に特定した具体的な役に立つものを住民も参加して作成してほしいのだといことを伝えました。安心・安全のテーマで学習会、説明会が必要。

3)、4)は時間切れ。

時間が足りないことを含め、1日にオープンハウスを2か所で開催することをやめてほしいと要望。

最後に①「交通問題」②「安心・安全」についての「学習会」の開催を要望したところ、担当(田辺さんから金子さんに交替)と調整してほしいとの回答でした。

19日の事務局会議の後、申し入れる予定です。(にしむらまり)